

2. 計画の目標水準

(1) 緑地の確保目標水準

表 緑地の確保目標水準

目標年次 における 緑地確保 目標量	市街地面積に対する割合 (A)		市街地面積 (市街地に接した周辺 地域の緑地を含む) に対する割合 (A')		都市計画区域面積 に対する割合 (B)	
		概ね	359ha 11.3%	概ね	1,390ha 33.0%	概ね
<参考>現状	概ね	344ha 10.8%	概ね	1,376ha 32.7%	概ね	11,972ha 67.3%

<緑の基本計画における計算式>

$$A = \frac{\text{市街地内の緑地確保目標量}}{\text{市街地面積}} \times 100 = \frac{358.52}{3,180.00} \times 100$$

$$= 11.3 (\%)$$

$$A' = \frac{\text{市街地内の緑地確保目標量} + \text{市街地に接した周辺地域の緑地面積}}{\text{市街地面積} + \text{市街地に接した周辺地域の緑地面積}} \times 100$$

$$= \frac{358.52 + 1,031.92}{3,180.00 + 1,031.92} \times 100$$

$$= 33.0 (\%)$$

$$B = \frac{\text{緑地の確保目標量}}{\text{都市計画区域面積}} \times 100 = \frac{12,013.19}{17,782.00} \times 100$$

$$= 67.6 (\%)$$

(2) 都市公園等の施設として整備すべき緑地の目標水準

表 都市公園等の施設として整備すべき緑地の目標水準

年次		現 状 (平成16年)	中間年次 (平成27年)	目標年次 (平成37年)
都市計画区域 人口一人当た りの目標水準	都市公園	10.7㎡/人	12.1㎡/人	13.4㎡/人
	都市公園等	21.8㎡/人	23.1㎡/人	24.3㎡/人

※都市公園等：都市公園＋公共施設緑地



表 歩いていける範囲の公園の整備率

年次	現 状 (平成16年)	中間年次 (平成27年)	目標年次 (平成37年)
歩いていける公園の整備率	78.0%	82.0%	96.8%
街区公園整備率	95.2%	100.0%	100.0%
近隣公園整備率	74.4%	81.6%	93.5%
地区公園整備率	64.5%	64.5%	96.8%

【参考－目標水準設定の考え方】

○緑地の確保目標水準について

- ・国が目安としている緑地の確保目標水準（市街地における永続性のある緑地の占める割合）は、「緑の政策大綱」（平成6年7月）及び都市計画中央審議会答申（平成7年7月）で30%以上、「グリーンプラン2000」（平成8年12月）で25%以上となっています。
- ・本市においては、都市化の進展により市街地における都市的土地利用が既に大半を占める状況にあり、一方で渡良瀬川など、市街地内に存するのと同等に容易にふれあうことのできる緑地が隣接して配置されていることから、A'の算定式に基づく約1,390ha、33%を確保目標水準として設定します。
- ・なお本市は、現状においても高い水準で緑地が確保されている状況にあり、緑地の増分は新設する都市公園によるもののみとなっています。現在指定されている地域制緑地よりもより制限の強い制度の適用を図ることにより、確保目標量33%の担保を高めていくことを趣旨とするものです。

表 市街地に接した周辺地域の緑地一覧

名 称	面積(ha)	備 考
山前公園	8.30	
織姫公園	10.50	
五十部運動公園	6.30	
河川区域(渡良瀬川)	687.62	都市公園(8箇所、77.91haを含む)
風致地区	319.20	河川区域と重複する岩井山(5.00ha)を除く
合 計	1,031.92	

○都市公園として整備すべき緑地の目標水準について

- ・国が目安としている都市公園として整備すべき緑地の目標水準は、都市計画中央審議会答申（平成7年7月）で21世紀初頭に一人当たり20㎡以上と提唱されています。
- ・本市においては、現在、都市公園として10.7㎡/人（都市公園に準じる緑地である公共施設緑地を加えた場合は、21.8㎡/人）となっており、国が提唱する水準には達していませんが、わが国の人口が減少に転じようとしている現状において、人口規模に基づいた目標設定はその根拠が乏しくなるものと考えられます（人口が減少することで、整備が進まなくても確保水準は上昇してしまう。）。
- ・このため、今後の都市公園の整備にあたっては、その推進による「量」の確保も視野にいれながら、都市公園が身近な場所に配置され、容易に利用することができるという

「質」の向上を重視していくこととし、「歩いていける範囲の公園の整備率」を高めることを目標として設定することとします。

- なお、歩いていける範囲の公園の整備率は、現状で78.0%となっていますが、今後20年間にわたる整備推進により、96.8%まで高めていくことを目標とします。

<都市公園整備の目安>

○都市公園面積の整備量：172.85ha→215.21ha(42.36ha、24.5%の増加)

○一人当たり公園面積の整備量：10.7㎡→13.4㎡(2.7㎡の増加)

○整備推進の目安：街区公園→年間約1箇所、近隣公園→約3年間で1箇所、地区公園

→10年間で1箇所